

岩国市観光誘客戦略事業評価会議（公表資料）

◆ 評価①「各事業における事業の効果について」

（評価委員個別意見抜粋）

- ・パンフレット事業について充実している。
- ・効果的な配布方法を要検討
- ・観光地と食、店などを掲載した総合パンフレットは大変よくできている。
- ・統一感のあるパンフレットや情報発信としてのホームページ、フェイスブックなどは大変評価できる。
- ・外国人向けパンフレットなど幅広く作成され、高く評価できる。
- ・フェイスブックには、フォロワーを逃さないため、定期的な発信がマストとなる。
- ・着地型パンフレットそして活用する上で誰にどこに行ってほしいのか、カスタマーや旅のテーマなどがはっきりないので、ターゲットが誰なのか明確にする必要がある。
- ・ホームページは、閲覧が容易でよくできている。
- ・各種パンフレットはわかりやすく、とても見やすいので高評価できる。
- ・パンフレットに岩国へ行きたくなる要素が良く盛り込まれている。

（評価①まとめ）

総合パンフレットや季節パンフレット、食パンフレット、ホームページ、フェイスブックなど情報発信ツールについては、各評価委員の方から、よくまとまっていると高評価をいただけている。

一方で配布の方法や一番にPRしたいもの、誰にどこに行ってほしいなど、ターゲットを明確にして情報物の作成や配布を考えた方が良いなどの評価意見をいただいた。

（評価委員 評価点数平均） 3.8点／5点中

◆ 評価②「計画目標（KPI）と実績について」

（評価委員個別意見抜粋）

- ・外国人観光客は大幅増だが、総数や錦帯橋の観光客は目標に届いていない。
- ・目標には届いていないが、増加は図れており、事業の一定の効果はあったと考えられる。
- ・KPIの設定としては、もう少し数値の分析をもち、根拠を明確にして設定する必要がある。
- ・数値データをタイムリーに把握できる体制作りが必要。
- ・KPIの算出根拠がよくわからず、明確にする必要がある。
- ・錦帯橋の集客力に依存せず、市全体で「どこに」「どんな人を」「何の目的で」集める計画なのかリピーターをどう増やすか見えてこない。
- ・随時取得可能で正確な一貫性のある関連データをKPIとし、目標達成に繋げる。

(評価②まとめ)

KPIの設定については、数値の分析を行い、目標設定する数値にどのような根拠によって達成する想定か計画を立てることが必要との指摘があった。

事業実施にあたり、「どこに」「どんな人を」などの目標を立て、KPIの数値に反映するなど、目標数値について根拠を明確にして設定することで、目標達成に繋げていくようにとの評価意見となった。

(評価委員 評価点数平均) 3. 3点/5点中

◆ 評価③「自立に向けた自主財源の確保について」

(評価委員個別意見抜粋)

- ・ 収入の大部分を市の補助金に依存しているため、独自の事業収益がほしい。
- ・ 広告料収入をあげるためのスケジュールを立てることが必要
- ・ 収益事業や特産品・地域限定グッズなどの販売を検討してはどうか。
- ・ 主な財源が補助金であることは仕方ないが、広告料などの事業収益による自主財源確保が必要。
- ・ パンフレットの広告料での収益を検討。
- ・ 現在発足しているDMOや新組織では、必ず柱となる収入財源があるので、柱の収入源の確保が必要。
- ・ パンフレットの広告枠による収益事業化を検討。
- ・ 観光施設の専用冊子を作成し、地元商店の広告掲載を依頼して収入源を確保する。

(評価③まとめ)

現在の収入が、市の補助金に依存しており、自主財源の確保が一番の課題である。

補助金以外に柱となる収入財源を検討する必要がある。

今後の広告料などの収益をあげるために、スケジュールを立てて、計画的に収入を確保できるようにすることが必要との評価意見となった。

(評価委員 評価点数平均) 2. 6点/5点中

◆ 評価④「今後の事業展開について」

(評価委員個別意見抜粋)

- ・ 入込客調査を誘客戦略にどう繋げるか。
- ・ 組織の早期一元化。
- ・ 温泉パスポートを市外で購入できる手段を検討する。
- ・ 基地も市としてのプラス面をアピールしてはどうか。ジャズ、ゴスペルなど米国音楽が楽しめるイベント開催などを検討してはどうか。
- ・ 錦帯橋という素晴らしい建造物を全面に出した文化的・芸術的なイベントを定期的に関

催してはどうか。また、そのイベントに食も絡め、新しい広がりを検討。

- ・ ホームページを見てもらうためのW e b 広告なども検討。
- ・ 個人旅行の誘客については、ターゲット別の情報管理、コース紹介なども必要。
- ・ 外国人観光客が予想以上に増加していることから、各種パンフレット、HPなどの外国語対応が必要。
- ・ 松がね・鶉の里でのイベント行事やマスコミへのアピールをもっと行う必要がある。

(評価④まとめ)

入込客調査などデータ分析を次の観光戦略にどのように活かしていくかが課題であり、新しい事業についてイベントなどの検討も必要ではないか。

ホームページを作成しても、そのホームページを見てもらうためのW e b 広告や新しい観光施設「松がね」や「鶉の里」の宣伝アピールをもっとマスコミ等へ行う必要がある。

ターゲット戦略も検討しながら、今後の事業を検討する必要があるとの評価意見となった。

(評価委員 評価点数平均) 3. 6点 / 5点中

◆ その他意見「総合的な観点からの提案やご意見」

(評価委員個別意見抜粋)

- ・ 人件費支出の割合を下げ、事業費支出の割合を上げる。
- ・ 日本酒に特徴があるため、酒蔵ツーリズムの取組を行ってはどうか。
- ・ カーブ由宇練習場での積極的な観光P R
- ・ 観光協会の統一は、これまでの地元地域の「おもてなし」も考え、地域性を損なわないように各協会と協議連携を図りながら、将来の組織を検討することが必要。
- ・ 将来的な統合を図ることにより、地域観光の衰退が起こらないようにすべきである。
- ・ この戦略協議会により、地域エゴではなく、本市全体の観光について協議する場ができたことは、大変評価できる。
- ・ 市内観光情報の発信は、一箇所ですべきである。
- ・ 様々な事業を少ない人員により、広域的かつ短時間に取り組むなど当該戦略協議会の存在価値を認識することができた。
- ・ これまでの実績を活かして、今後の観光戦略に期待している。
- ・ 今後、自主財源の確保が最大の課題となる。あらゆる仕掛けにより収益を確保しなければならない。
- ・ どこを入口として、どこから集客、どこに集め、観光消費や時間消費をさせるか、設計が必要だと思う。
- ・ 地元商店街、ホテル等の意見交換の場を作ることも必要、意見交換により事業の方向性を検討できる。
- ・ パンフレットは充実しているが、アクセスの問題もあるため、「はとバス」のような態勢づくりも効果的だと思うが検討できないか。半日コース、ゆったりコース、カー

プ2軍観戦と由宇温泉の旅など。

- 空の玄関口空港と錦帯橋とのアクセスバスを見直す必要性を検討してもらいたい。
- 由宇カープ球場では、ウエスタンリーグ公式戦が開催されているので、この資源の活用も検討願いたい。
- 観光誘客のため、様々な事業を実施していることを評価する。
- マイナス面とされている米軍基地があり、難しいとは思いますが、観光誘致に活用する手段も検討願いたい。
- 錦帯橋を中心として魅力を更に高めてもらいたい。

(その意見 まとめ)

統合パンフレットや食パンフレットなどをはじめ、これまでの岩国観光プロモーション戦略協議会が実施している事業取組については、一定の良い評価をいただいた。

収入財源が補助金に依存していることについては、今後の取り組みにより、少しでも自主財源を確保することが大きな課題となっており、魅力あるパンフレットの作成とそれに伴った広告収入をあげられるように努力していくことが必要である。

アクセスの問題やカープ球場、基地の活用など新しい事業取組についても、今後、検討が必要との意見をいただいた。

◆ 総合評価まとめとして

行政が作成しているパンフレットとは違い、物産や食をあわせた統合パンフレットや食パンフレットなどについて、評価委員より大変充実したパンフレットで良いとの評価をいただいた。

また、各種事業についても、一定の評価をいただくことができた。

しかしながら、収入財源については、補助金収入に依存していることから、今後の自主財源の確保が最大の課題となっており、魅力あるパンフレットや情報発信媒体により、広告収入を得ることや、主軸となる収入の検討などを調査研究することが必要と評価指摘となった。

将来的組織のあり方についても、各観光協会の連携を図り、地域取組の良さを衰退させてないように、どのような組織編制がよいか、全体として協議調整が必要である。

今後においても、各観光協会、商工会議所、各商工会、観光関係団体と密に連携を図りながら、岩国市の観光振興と観光交流の発展に寄与するよう事業の実施を行っていく。

(評価委員 総合評価点数平均) 3. 3点／5点中